



平成30年8月10日

各 位

会 社 名 フジコピアン株式会社  
 本社所在地 大阪市西淀川区御幣島五丁目4番14号  
 代 表 者 名 代表取締役社長 赤城 貫太郎  
 (コード 7957 東証2部)  
 問 合 せ 先 常務取締役 管理部長 上田 正隆  
 電 話 番 号 06-6471-7071

第2四半期累計期間の業績予想数値と実績の差異  
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年2月14日に公表いたしました平成30年12月期第2四半期累計期間(平成30年1月1日～平成30年6月30日)の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、これにともなう影響と最近の業績動向を踏まえ、平成30年12月期通期(平成30年1月1日～平成30年12月31日)の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

1 平成30年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想と実績の差異(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	4,400	160	160	110	71.76
実 績 値 (B)	4,551	311	313	215	140.56
増 減 額 (B-A)	151	151	153	105	
増 減 率 (%)	3.4	94.4	95.6	95.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年12月期第2四半期)	4,294	154	161	93	60.78

2 平成30年12月期 通期連結業績予想数値の修正(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	9,000	400	400	270	176.15
今 回 発 表 予 想 (B)	9,100	500	500	330	215.31
増 減 額 (B-A)	100	100	100	60	
増 減 率 (%)	1.1	25.0	25.0	22.2	
(ご参考)前期実績 (平成29年12月期)	8,740	358	391	254	166.24

3 平成30年12月期 第2四半期(累計)個別業績予想と実績の差異(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	4,200	100	60	39.14
実 績 値 (B)	4,406	282	190	124.02
増 減 額 (B-A)	206	182	130	
増 減 率 (%)	4.9	182.0	216.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年12月期第2四半期)	4,118	100	46	30.48

4 平成30年12月期 通期個別業績予想数値の修正(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	8,700	300	190	123.96
今 回 発 表 予 想 (B)	8,800	400	250	163.12
増 減 額 (B-A)	100	100	60	
増 減 率 (%)	1.1	33.3	31.6	
(ご参考)前期実績 (平成29年12月期)	8,412	274	164	107.52

(注) 個別業績予想数値について営業利益は公表しておりません。

5 第2四半期(累計)業績予想と実績の差異の理由および通期業績予想修正の理由

当第2四半期累計期間の業績は、利益面において高付加価値製品の販売増加およびグループを挙げた生産の効率化によるコスト削減に努めたことにより、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益ともに予想に対して増加する結果となりました。

通期の業績予想につきましては、原材料価格の上昇懸念などがあるものの、第2四半期累計期間の業績を反映させ売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上